

## マザーグースと豚

こどもをあやす唄として、英語の伝承童謡マザーグースにこんな豚の唄があります。

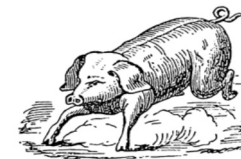
### このこぶたさん

このこぶたさん	かいものに	This Little Pig went to market,
このこぶたくん	あるすばん	This little Pig stayed at home,
このこぶたくん	ビフテキをべて	This little Pig had roast beef,
このこぶたさん	はらっぺこ	This little Pig had none,
このこぶたくん	ないている	And this little Pig cried, Wee-wee-wee-wee,
ウィー ウィー ウィー		I can't find my way home.
ぼくはまいごに	なっちゃった	『よりぬきマザーグース』谷川俊太郎訳 鷲津名都江編 岩波少年文庫 2000より



この唄をモデルにしたのがアガサ・クリスティの『五匹の子豚』のお話。16年前におきた画家殺人事件、犯人とされた母は無実だと娘から事件の再調査を依頼された探偵ポワロ。14年前に起きた事件を洗い直すため、当時事件に関わった5人の容疑者（これを5匹の子豚とかけている）にそれぞれ話を聞きに行くことに。16年前の事件に隠された真相とは、そして真犯人とは。この事件で使われ、推理の重要な手がかりとなった毒薬「ドクニンジン（ヘムロック）」について書かれた本はいかが？『アガサ・クリスティと14の毒薬』より「五匹の子豚」 キャサリン・ハーカッ プ著 長野きよみ訳 岩波書店 2016 実際この唄をきいてみたいひとは…♪『マザーグースの歌 英語版 イギリスの伝承童謡』（CD）平野敬一 監修・解説 William Moore 朗読 コロンビア・オーケストラ 伴奏 日本コロムビア 1977 CDも貸出できますよ♪

## 豚のおはなし



『動物好きに捧げる殺人読本』より「松露（トリュフ）狩りのシーズンの終わりに」パトリシア・ハイスミス著 中村凧子等訳 創元推理文庫 1986

動物もうらみをもったときには、わたしたち人間と同様に人を殺すのです。豚のサムスンと農夫のエミールは、賞金目当てにトリュフ狩り大会に参加することになりました。以前からサムスは、エミールの自分の扱いに腹を立てていました。トリュフ狩り当日、この日も横暴なエミールの態度について豚のサムスンがキレて…。豚って実は凶暴な動物なんですね…恐ろしい

## わたしたちの生活と豚

わたしたちは豚こたくさんお世話になっているんです！

『いのちの食べかた』森達也著 理諭社 2004

わたしたちは生きるために、豚や牛、ほかの「いのち」を犠牲にしています。わたしたちが普段食べている豚肉や牛肉、豚や牛から豚肉、牛肉になってわたしたちの口のなかへ入るまでをあなたは知っていますか？この本を元に作られたDVD『映画いのちの食べかた Our Daily Bread』ニコラウス・ゲイハルター監督・撮影・脚本 新日本映画社 2008もどうぞ。

『イベリコ豚を買いに』野地秩嘉著 小学館 2014

餃子、焼売、豚丼…いまやスーパーや飲食店で当たり前目にする、「どんぐりを食べる豚」として有名なイベリコ豚。実際のイベリコ豚を見てみたいと著者が向かった先は、スペイン。取材に行くだけのはずが、イベリコ豚を買って、新商品を開発し、売ることに?! イベリコ豚の虜になった男たちの記録。どんぐりを食べないイベリコ豚もいる?! 足首が細く、耳が前にたれていて意外とかわいいんです、イベリコ豚。



『ありがとう実験動物たち』

笠井憲雪監修 太田京子著 岩崎書店 2015

わたしたちが飲む薬などの実験に使われる動物「実験動物」。「動物実験反対」の言葉をよく耳にしますが、動物実験はどんな目的で、どんな風に行われるのでしょうか、どうして動物を使うのでしょうか。そんな実験に使われる動物たちを飼育する女性のお話。ブタは、ヒトの性質にとっても似ていて、実験によく使われるのだそう。わたしたちの生活に、「実験動物」が深くかかわっていることから目を背けてはいけませんね。



はと時計6月号

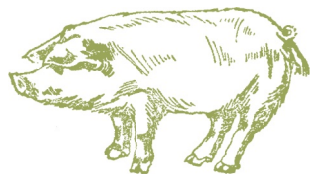
松蔭中高図書館2017年6月12日発行  
library@shoin-jhs.ac.jp 担当: 正路

## 豚特集

豚は世界のいろいろな地域で「縁起のいい動物」として親しまれています。韓国では豚は金運をあげるといわれているそうです♪ドイツやオーストラリアでは、豚は幸運を運んでくるものとして、新年や誕生日に豚の置き物をあげる習慣もあるそう！ドイツ語では、いいことがあったときに「豚を手に入れた」といった表現を使うんだって♪そういえば、松蔭の近くの王子公園の近くに、大きな豚を散歩させている人がいるそうですが、みなさんは見たことありますか？ペットなのかなあ？一度見てみたいものです。

## オオカミのパートナーは豚!?

だれでも知っている三びきのこぶたのおはなしがそうですね。『三びきのコブタのほんとうの話（岩波大型絵本）』（絵本）A・ウルフ談 ジョン・シェスカ文 レイン・スミス絵 いくしまさちこ訳 岩波書店 1991 3びきのコブタに出てくるオオカミは「コブタを食べるおそろしくて悪いやつ」って思っていない？それはどうやら違うようです…。これって本当なの～？3びきのコブタのほんとうのおはなしをオオカミが独占！元のおはなし三びきのこぶたももちろん図書館にありますよ♪『三びきのこぶた イギリスの昔話』（絵本）ポール・ガルドンえ 晴海耕平やく 長崎市童話館 1994 比べながら読んでみては?!



## 豚はかしこくてイケメン!?

『ポルコさまちえばなし スペインのたのしいお話（岩波おはなしの本）』ロバート・デイヴィス著 瀬田貞二訳 F・アイヘンバーグ絵 岩波書店 1964 「ポルコさまポルコさま」と動物たちは困るといつもポルコさまに助けを求めてやってきます。動物からも人間からも一目おかれるダンディーで賢いポルコのおはなしがつまっています。ポルコというのはスペイン語で「ブタさま」という意味なんだって。（スペイン人は先祖よりブタをとっても大切にしていたんだって。）スタジオジブリの『紅の豚』の主人公マルコの名前もここからきたのだとか…。気になった人は『紅の豚 シネマ・コミック7』宮崎駿原作・脚本・監督 文春文庫 2014をどうぞ。

## 豚のご先祖様は?

豚はいのししを家畜（人間の生活に役立つように飼育される動物）にしたものだって知っていました？神戸市はいのしし条例が公布されるほどいのししがたくさん出没する地域ですね。みなさん見たことありますか？豚のご先祖様のいのししの本をご紹介します。『いのしし』（絵本）前川貴行写真・文 アリス館 2007 荒々しい毛並み、大きくてりっぱな鼻、ぐうぐうと低いうなり声、するどい目つき。著者が兵庫県の六甲山で出会ったいのししが載っています。いのししのあかちゃん（うり坊）はかわいいですね♪



## 映画の中の豚

スクリーンの中で動く姿はまさに天使！  
映画化された本もありますよ！



★牧羊豚のベイブが牧場を守るために今度は都会へ！『ベイブ都会へ行く』ジャスティン・コーマン＆ロン・フォンテス著 AKKO [MY LITTLE LOVER] 訳/監修 小学館 1994  
★蜘蛛とブタのふしぎな友情! 『シャーロットのおくりもの』EB.ホワイト作 ガース・ウィリアムズ絵 さくまゆみこ訳 あすなろ書房 2001